

高 尚

Hitati Umeaoka Hospital
Keiaikai of Medical corpora
tion
Director Masaki Okada

〒316-0012 2409-3 Ookubo-cyou
Hitati-shi IBARAKI-KEN
Tel:0294-34-2103
<http://www.umeaoka.or.jp>
MAYUMI May 2014 NO, 72



『今年度の課題』院長 岡田 正樹	P. 2
『ホットニュース』	P. 2
『集団感染を振り返って』院内感染防止対策委員会 小野 浩子	P. 3
『梅ヶ丘自然写真館』	P. 3
『今年の抱負』ことぶき 飛田 英明	P. 4
『病院の顔が素敵に変身』	P. 4
『現在の取り組みと今年の抱負』まゆみの里 深谷 俊一	P. 5
『私の趣味』医事課 渡邊 繭子	P. 6
『編集後記』	P. 6



今年度の課題

岡田 正樹 院長

平成26年度の大きな課題である「精神福祉法改正」「診療報酬の改正」が今年4月にやってきた。この原稿を書いている3月中旬になっても、まだその全体像が明らかとなっていない事が、大きな疑問でもあり不満でもある。

精神福祉法と診療報酬は、別々の案件の要で、実は密接な繋がりを持っている。精神科を業務としている我が病院に於いて、この事は直接業務に関わる事なので、始まってから明らかになる事などあってはならない事なのである。が、しかし今回、この霧がかかった様な状態で、4月を迎えねばならない。この院内報が発行される頃には、皆が色々な所でその変化に気づいている事と思う。それまでとは違った所に注意して業務に当たられたい。

今年度の次の課題として、医療連携がある。

「精神科医療連携」「認知症医療連携」この二つが大きな連携事業の課題なのだが、県レベル、市町村レベル、医師会レベルでそれぞれ別々に動いている様に見える。複数の連携が立ち上がると、かえってややこしい事になりはしないかと危惧している。要は風通しが良くなればいいのであって、もっとシンプルにしていきたいと考えている。

最後の課題として、これは職員全員の課題となる。

院内の課題としては、医療連携でも述べたように風通しを良くする事に主眼を置きたい。何でも言い合える、何でも相談出来る、何でも解決出来る、そういった職場にしていくためには、業務の良い面も、悪い面も、お互いの良い面も、悪い面も、語り合える事が大切である。スタッフ皆が風通しよく仕事ができれば、自ずと患者さんとも風通しが良くなるだろうし、それは良い病院にしていくためには、とても大切な事だと思う。皆がそういう意識を持って、業務に当たってってくれる事が私の望みでもあり、今年、いや今後の課題である。

ホットニュース ～地域に貢献



平成
二六年三月九日

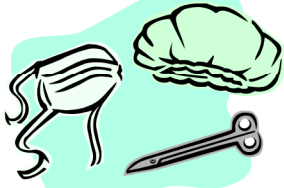
「感謝状を
頂きました」

平成26年1月27日、梅ヶ丘病院のすぐそばの森林で林野火災が発生しました。

栄養課から、「林から煙がみえる！きな臭い」との連絡を受け、すぐさま数名の職員が現場を確認に向い、それから大量の消火器を運び、消火活動に参加しました。消防車が5・6台出動し、翌日の新聞に掲載される程の大きな火災でした。後日、消防署より感謝状を頂きました。

災害時にすぐさま対応できる行動力と判断力は、長年の経験でつちかかってきたものと、常日頃から危機感を持ち生活しているからできた技だと思います。同じ梅ヶ丘で働くものとして、心から誇らしく思います。

地域の方々の梅ヶ丘に対する印象が、少し良くなったに違いありません。



集団感染を振り返って

院内感染防止対策委員会 小野 浩子

私が院内感染防止対策委員会の教育担当になり、早2年が過ぎました。

25年度は、8月にA棟にて疥癬が発生し、11月にグループホームことぶきにて感染性胃腸炎が発生、2月にはB棟にてインフルエンザと集団感染が次々と発生してしまいました。その為、保健所へ届出をして指導を受ける結果となりました。疥癬とインフルエンザの集団感染により予防投与を行うなどの経済的損失や、患者様へ多大なるご迷惑をお掛けし深く反省しております。

振り返って考えてみると、患者様の観察不足や手洗い、防御策、環境整備等の感染防止対策が日頃から十分に実施されていなかったためと思われます。

職員間で感染防止に対する考え方に温度差があり、それを埋めるには、豊富な知識と経験が必須であると思います。今後は若いスタッフにどんどん研修に参加してもらい、知識と経験を養っていてもらいたいと考えております。「この委員会の教育担当になると退職する」というジンクスがありますが、若いスタッフにはこのジンクスを感染させないように自らも勉強し、良いバトンタッチが出来るよう努めていきたいと思っております。

26年度も引き続き、各部署皆さまのご理解とご協力をお願い致します。



今年は、積雪に見舞われ、梅ヶ丘が一面の銀世界に包まれました。



患者様のために、職員が一丸となって雪かきに努めました。



ぼたん桜が満開となり、白樺や竹林の新緑がさわやかで、春から夏へ向かう、何とも言えない良い香りがします。もうすぐツツジが一斉に咲き始めます。是非、D棟へ向かうスロープを散策してみてください。





今年の抱負

ことぶき 飛田 英明

ことぶきは今年無事に開設 12 年を迎えることが出来ました。これは、いつも多大なるご指導とご協力を頂いております病院の皆様のおかげであると感謝いたしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

ことぶきでは入居者様が「今日は良い 1 日だった」、そして私達職員が、「良い介護ができた 1 日だった」と思えるような毎日にするために努力をしています。

今年、ことぶきは「ケアプランの充実と実行」を重点項目として挙げました。「絵画を見に行きたい」「演歌のコンサートに行きたい」など、入居者様 1 人ひとりの声に耳を傾け、各人の思いを重視したプランを作成することで、可能な限り多くの希望を実現していきたいと思えます。現在、ことぶきは、65 歳から 95 歳の方までいます。「60 歳代の方にはやりがいを持って生き生きと生活できるように」「90 歳代の方にはのんびりと安心して生活できるように」といったそれぞれの方が本当に望む生活を提供していきたいと強く思っています。以前は、本人や家族の希望を聞き、職員間でケアプランを立てていました。しかし、今後は本人とその家族様が会議に参加できる場を設け、医師・看護師・ケアマネージャー・介護福祉士が、各立場から意見を出し合いながら、本人と家族の希望を最大限実現できるように努めていきます。そして本人が自分らしい生活を送る手助けとなるようなケアプラン会議を実施していきたいと考えています。さらに、その上で立案したプランが絵に描いた餅にならないよう確実に実行すると同時に、定期的にモニタリングを重ねることで本当に本人に合っているかどうかを検証していきます。時間はかかると思いますが、次のプランにも活かすことができるよう、あせらず進めていきたいと思っておりますので、今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



病院の顔が素敵に変身



本館の玄関をリニューアルしました。下駄箱には、地域のサービス案内や施設のパンフレットが入り、なんともオシャレなレターケースに！

業者に委託せず、職員の協力でここまで綺麗になるとは！梅ヶ丘には、『患者様のために、より良く環境を変えていこう』という気持ちを持った仲間が沢山います。感謝！！

現在の取り組みと今年の抱負

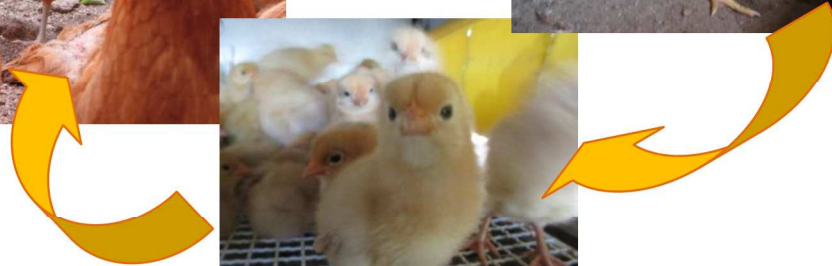
まゆみの里 深谷 俊一

皆様のご助力のもと、まゆみの里も今年で開所 9 年目を迎えることができました。また昨年の 2 月に指定特定・障害児相談支援事業所を開設し、幅広い相談援助が可能になりました。現在、まゆみの里には 28 名の利用者が就職を目標に通所しています。まゆみの里では、就労移行支援を主目的として活動しており、障害者就業・生活支援センターを始めとした様々な機関と連携を図るとともに、障害者就職面接会への積極的な参加していくことで平成 25 年度は 7 名の利用者が就職できました。

まゆみの里では、養鶏作業、内職作業の 2 項目の作業を提供しております。現在の養鶏作業の取り組みとして、まず廃鶏時期の見直しを行いました。過去に廃鶏の時期が重なり極端に採卵率が低下してしまうことで、長い間納品先へ納品ができないという状況がありました。そこで、入荷日をずらすなど鶏の入れ替え時期を一から見直し、コンスタントに納品できるよう調整しました。今後も納品先への安定供給に力をいれ、納品が途絶えないようにするとともに販路の拡大に努めていきたいと思ひます。

施設内作業では、新たな内職提供事業所の開拓に力をいれ、現在約 7 種類の内職作業が提供できるようになりました。卵の売り上げと豊富な内職作業により利用者の工賃の向上を実現することができました。

施設内の作業だけではなく、今年は院内の行事や施設外の行事に積極的に参加していきたいと思ひます。作業ばかりの一片等な毎日ではなく、行事へ参加することで少しでも利用者の楽しみにつながり、まゆみの里に行くのが楽しい、そう思っていただけそんな施設にしていきたいと思ひます。



～編集後記～

春というのはとてもいい季節ですね！
別れがあり出会いの季節です！ 新人職員の方々もそろそろ慣れてきましたでしょうか？

梅ヶ丘病院の職員としての自覚をもち、これからもよりよい梅ヶ丘病院になるよう一緒に頑張っていけたらと思います。

先日4月26日土曜日にひたちなか海浜公園へ行ってきました♪

チューリップ・ネモフィラ・菜の花・スイセンなどたくさんの花が見ごろで大変見事でしたw 日常を忘れられるような非日常の世界観で(笑)

GWということもありたくさんの方が来ておりました。

みなさんは、GWどちらへ行かれましたか？

N. N



私の趣味

医事課 渡邊 繭子

マラソンの大会に参加するようになってから3年目を迎えました。皆さんマラソンと聞くと好きでない方はなぜ走るのか、走る意味が分からないなどと思うかもしれませんが…。
私は走るたびにある言葉を思い出します。
「体力に自信がないから走らないのではなく、体力をつけるために走るのではないのか？」

これは中学生の時、陸上大会の長距離走や駅伝に出場するために集められた臨時陸上部員として毎日の練習に参加していた時に顧問の先生からかけられた言葉です。走ることは嫌いではなかったものの決して得意ではなく、体力もなかったため練習を辞退したことがあります。そんな時に叱咤された言葉でした。

体力がないなら走って体力をつければいいんです。体力がつけば走ることが苦しいから楽しいに変わるはずですよ。
何事でもそうだと思いますが、できないからやらない、私には無理だと思ってしまうかもしれませんが、やってみなければわからない、どうかが無理かどうかはわからないです。発想を少し変えてみるだけで、やってみようかなという気持ちを作れると思います。
できないからと決めつけて挑戦しないなんてもったいないです。皆さんもこの春、新たに何かに挑戦してみませんか？



外来診療担当表

	受付時間 8:30～ 診療時間 9:00～			休診日		
	月	火	水	木	金	土
新患	後藤	高橋	清水	院長	伊藤	
再診	伊東	院長 堀	後藤	清水	高橋	後藤

受付・入院のご相談

初診・再診共に月曜日から土曜日まで全て予約診療となっております。お電話にて予約を承ります。

電話受付時間：

月曜日～金曜日 8:30～17:00

土曜日(第1・3・5) 8:30～12:00

0294-34-2103



医療法人 主愛会 日立梅ヶ丘病院

所在地: 〒316-0012

茨城県日立市大久保町 2409-

TEL : 0294-34-2103

FAX : 0294-33-1800

URL : <http://www.umegaoka.or.jp/>

E-mail : info@umegaoka.or.jp

